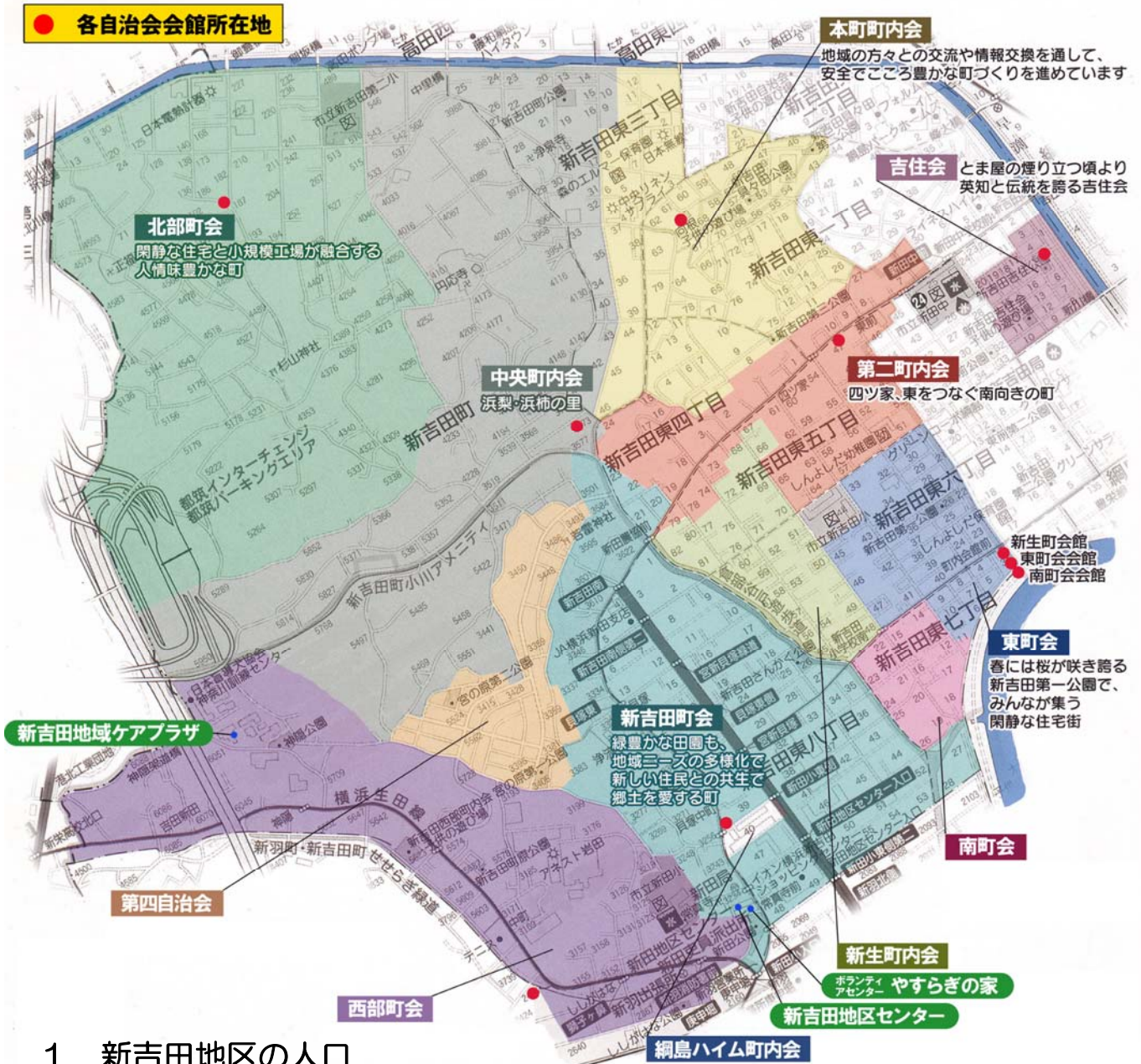
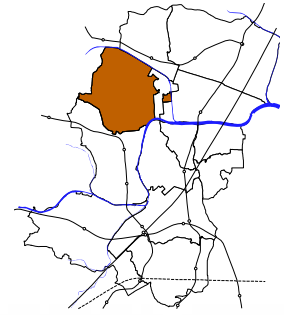


いいな！みんなのまち 新吉田



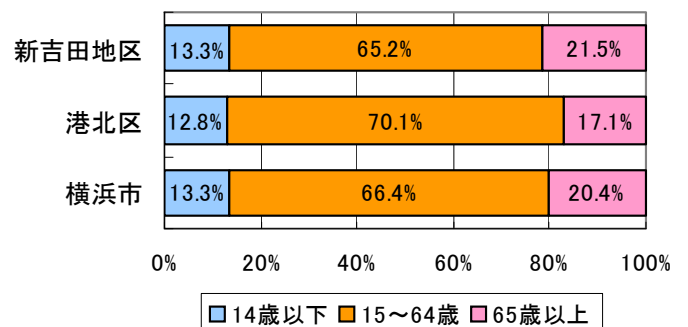
1 新吉田地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
新吉田地区	8,167	18,350	2.25
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

*平成 24 年 3 月末現在

年齢3区分別人口構成



2 わたしたちのまちの特色

地区の東側、南側が住宅市街地となっており、宮内新横浜線の沿道で人口増加が続いていますが、全体として人口は安定傾向にあります。15歳未満と65歳以上の人口の比率がともに区平均を上回り、特に高齢者層の増加が続いています。

地区の西側、北側は丘陵地になっており、農地や樹林地が多く、この区域に高齢者や障がい者の福祉保健施設が多く立地しています。

3 これまでのがんばり

平成17年夏、第1期の地区別計画から、高齢者支援グループ「ほっと新吉田」が生まれたほか、港北区社会福祉協議会がボランティアや民生児童委員、もみじの会、地域ケアプラザと協働して行う福祉体験教室（車椅子・アイマスク・手話の体験）、子育て支援の為の「農」の収穫体験会、未就園児の為の親子コンサートの開催など、子育てから高齢支援まで多様な取り組みを行ってきました。

また、区の西側エリアのボランティアセンターの拠点として開設された「やすらぎの家」は新吉田地区社会福祉協議会が管理し、地域の福祉活動を支援する活動拠点として、何でも相談できる地域の窓口として有効に活用してきました。

4 これから目指していく姿

- ◎ 一人ひとりが手をつなぎ、明るく、住みよい福祉のまちを目指します。
- ◎ 緑豊かな地域の特性を活かし、子育て支援 高齢者支援の活動を多様に展開していきます。
- ◎ 地域の拠点ともなっているボランティアセンター「やすらぎの家」の活動とネットワークづくりを充実させ「必要な人に情報を届ける方法」を検討し有効に活用していきます。

5 わたしたちのまちの取り組み

◇取り組みの進め方

- ◆ 新吉田地区策定委員会であげられた3つの柱に取り組んでいきます。
- ◆ 今後の事業継続に欠かせない次世代の担い手を確保します。
- ◆ 様々な活動が各々相互に結びつくようネットワーク化します。



地域の活動拠点
ボランティアセンターやすらぎの家

◇取り組みの方向 - 3つの柱

◆災害時要援護者の支援

- ▶ 平成23年度に災害時に援護が必要な人の把握をすすめる為実施した、「支えあいカード」をいざという時に活かしていきます。

◆高齢者への対応

- ▶ 80歳以上の高齢者層が増加している現状を受け止め、民生児童委員や「ほっと新吉田」と必要な手助けができるよう支援していきます。

◆子育て世帯の支援

- ▶ 平成24年4月末就園児対象の子育てサロン「よしだっこ」がスタートしました。民生委員児童委員協議会の協力を得ながら、地域ぐるみで支援していきます。
- ▶ 未就園児、乳幼児を対象とした「親子コンサート」「芋ほり体験会」を継続し、「ふれあい動物園」の開催を、学校・地域と連携しながら開催していきます。



子育てサロン「よしだっこ」
毎月第2木曜日午前 開催

キーワード	取り組み	
	目標	具体策
ひろがる	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者等の理解を広める。 ・子どもの「夏休みボランティア体験」「車椅子体験」「夏休み福祉体験」を継続しつつ更なる充実を図っていく。 ・通学時の付添い、保育園送迎、外出時の見守りなど障がい児の生活支援を継続する。 ・世代間の交流をすすめる。
	担い手	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会（ボランティア入門講座、高齢者、介護、認知症）を継続する。 ・広報「ほっと新吉田」によるボランティア募集を継続・充実する。 ・「ふれあい動物園」「手遊び講座」「音楽会」「芋掘り体験」など親子のふれあい、子育て世帯の支援を継続・充実する。 ・「よしだっこ」を地域ぐるみで支援する。
つながる	知る	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動しているグループの必要な情報を共有できるよう発信していく。 ・地域の活動や町内会・自治会の活動の把握をすすめ、会の必要な情報を相互把握できるよう連携を取る。 ・運動会、盆踊り、お祭りふれあい動物園等の地域交流イベントなどの情報発信を継続・充実する。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動をネットワークする。 ・学校、PTAと地域の連携をすすめる。 ・地域の活動や町内会・自治会の活動の把握をすすめ、連携や役割分担をする。 ・小学校の子どもたちのプールの付添い支援等を継続・充実する。

キーワード		取り組み	
		目標	具体策
とどく	情報	<ul style="list-style-type: none"> 必要な人に情報を届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動拠点としての相談窓口「やすらぎの家」を活用していく。 広報「ほっと新吉田」の刊行継続・充実する。 地域開催事業の広報を拡大充実する。
	早期発見	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に援護が必要な人を把握し、日常活動にも活かす。 徘徊する高齢者を早期発見する仕組みをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 町会別に作成し港北区と締結した要援護者リスト「支えあいカード」を安全かつ適切に維持管理し、日常の見守り、声かけ等の活動に活かす。 防災訓練を継続し、実際に役立つ訓練を充実させる 地域ケアプラザ等と連携して高齢者の早期発見や問い合わせに対応できる仕組みをつくる。 隣接する地区と連携するネットワークを作る。

6 ぶり返りの仕方

取り組みに挙げた3つの柱の、要援護者リスト「支えあいカード」が集約され港北区と締結しました。また、子育て支援の取り組みとして、念願の未就園児対象の子育てサロン「よしだっこ」が誕生しました。着々と事業がすすめられ、推進委員会の活動は、一つ一つ計画を実現化しています。

7 最後に

第2期地域福祉保健計画「ひとつプラン港北」新吉田地区計画は、この計画にもとづいて、新吉田地区の福祉保健のまちづくりに積極的に取り組み、残る高齢者支援の取り組みを進めていきます。



計画づくりに参加した推進委員

新吉田連合町内会会長、新吉田地区社会福祉協議会会長、新吉田地区民生委員・児童委員協議会会長
 新吉田地区の12町会の町内会会長、新吉田地区社会福祉協議会事務局長・事務局次長・会計、ほっと新吉田代表、もみじの会代表、保健活動推進員地区会長、消費生活推進員地区代表、民生委員・児童委員、主任児童委員